

ガルモハル

JAPANESE SCHOOL
OF MUMBAI

TEL 022-6694-0630

13 DEC/2024 NO8

『全校で取り組むSDG s』

校長 佐藤 義朗

ムンバイ日本人学校では、昨年度からSDG sを中核に教育活動を行っています。

学習発表会でも、1・2年生、3・4年生、5・6年生、中学部それぞれが17の目標に関連させ、様々な視点でSDG sの取組を発表してくれました。

児童生徒会では自分たちの発案で、全校でペットボトルの回収を行い、資源の有効活用に取り組んでいます。11月中旬から約1か月の回収機関を設けたことで、たくさんのペットボトルが集まり、資源のリサイクルに役立っています。自分たちでアイデアを考え行動に移し、本当に素晴らしいと思います。(詳細は、裏面参照)

また5年生の児童は、国語の授業「自然環境を守るために」の中で「気候変動と貧困」というテーマで調べてくれました。気候変動という1つの事象が、大規模な山火事や洪水、干ばつ、猛暑や豪雨の気象災害に発展し、さらに世界中の穀物生産に影響して、食糧危機⇒飢餓⇒児童労働⇒教育の不平等と数多くのことにつながっていくことに気がきました。そして、今まで当たり前と思っていたことが、当たり前でなくなると発表してくれました。

本校では、昨年度からSDG sの17の目標の中の 目標7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」の取組として全校で、「節電」に取り組んできました。昨年度は、子どもたちが意識をしてエネルギーを大切に使用してきた成果が表れ、一昨年度に比べて1年間で約1か月分の電気代 65479 ルピー (約12万円) を節約することができました。12月の全校朝会では、今年度4月から9月までの電気代を提示し、昨年度の比較で取組の途中経過について子どもたちに紹介しました。結果、昨年度の4月から9月は、397030ルピー (約72万円) 今年度は、328305ルピー (約59万円) となり、着実に節電の効果が表れていることがわかりました。子どもたちは、「意識」して取り組むことの大切さを実感していました。3月まで、しっかりと継続して行ってほしいと思います。

さて、明日から冬季休業に入ります。1年の中で授業日が一番長い2学期、子どもたちは「学習発表会」をはじめ、多くの行事や活動で、多くの方々の支援でたくさんのことを学ぶことができました。終業式の校長講話では、子どもたちと交わした4つの約束 ①命を大切にすること ②あいさつをすること ③思いやりの心をもつこと ④日本やインド、他の国からたくさんを学ぶこと についてみんなで確認をしました。その中の「命を大切にすること」とは、病気を予防したり、事件・事故に遭わないよう気を付けたりすることはもちろんのこと。世界でたった1つの与えられた自分の「命」を大切に、1日1日を大切に生きるため、どのような冬休みを過ごすかについて考える機会を設けました。明日から子どもたち一人ひとりが学校外で、自分のイメージした有意義な時間を送ることを祈念します。

今年も、本校の教育活動の推進に関しまして、保護者の方、日本人会の方、そしてインド人の方から多くのご支援をいただいた事に、感謝いたします。

皆さま、よいお年をお迎えください。



What a great time! 遠足日和でした！



12月6日(金)、小学部1年～4年生がインドで大人気のテーマパーク「イマジカ」へ遠足に行ってきました。朝、集合したときから子どもたちはそわそわ、ワクワク。思いっきり遊びたいと待ちきれない様子でした。バスに乗っていざ出発。中ではレク係さんが用意してくれた楽しいクイズやゲームで大盛り上がり。バスに酔ったりする暇もないほど楽しんで、あっという間に目的地に到着しました。

到着したのは開園前。子どもたちの目はジェットコースターやフライングソーサーなどの巨大な乗り物にくぎ付けです。私はあれに乗りたい。僕はこれに乗りたい。といった会話が途切れません。そしてこの時期インドは比較的涼しく遠足シーズンのように、他の学校のインドの子どもたちであふれかえっていました。開園時間となり、いよいよ入場。イマジカの Mascot キャラクターやダンサーたちが軽快なダンスで出迎えてくれました。

身長制限があってお目当ての乗り物に乗れない時もありましたが、それでも、童話に出てくるような観覧車、絶叫せずにはいられない急上昇急降下を繰り返すジェットコースター、怖いもの見たさのお化け屋敷、カーレース気分のゴーカート、水しぶきが心地よいウォータースライドボート等々。子どもたちは全力で、そして全身で遠足を楽しみました。

汗だくになって帰りのバスに乗り込んだ子どもたち。第一声は「あー楽しかった。こんなに遊んだの久しぶりー。ほんとにあっという間だったー。」というものでした。帰りも少しレクをやりましたが、疲れ切ったのか、後は殆どお休みタイム。素敵な寝顔が充実した一日を物語っていました。

みんなで決めた目標「マナーやルールを守って楽しく過ごすことができる」「友だちと協力して活動できる」が達成できた素晴らしい遠足となりました。



ペットボトルリサイクル 大作戦！

学校では SDGs の 17 の目標を意識した教育活動を行っており、学校生活の中でも節電に取り組んでいます。現在、約1カ月分の電気代節約に成功しているところですが、今度は児童生徒会が中心となってペットボトルの回収に取り組み始めました。家で飲み終わったペットボトルを洗って学校へ持ってきてもらい、まとめて回収業者に引き渡します。今回の取組は11月13日～12月13日までの1カ月間。この期間で何と204本のペット



ボトルを回収することができました。ペットボトルを入れた袋を縦に積み上げると低学年児童の身長より高くなります。身長を比べた児童は自分たちで協力すればこんなになるんだと実感したようです。まだまだ小さな取組かもしれませんが、子どもたちの中には確実に「持続可能な開発」に対する意識が芽生えているようです。